

日本共産党 和歌山市委員

# ひめだ高宏ニュース

No.874  
11.8.9

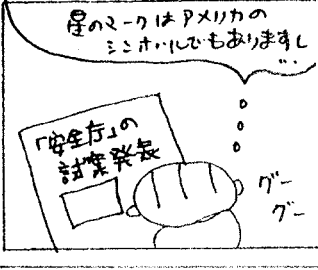
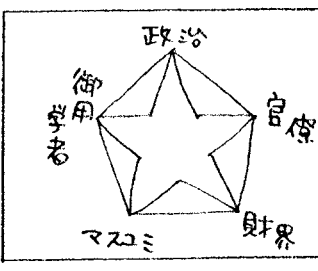
## 暑さと事故に気を付けて。

「暑いですネー」会う人ごとに言うことば。言葉ばどうなるものでもないですが、まあ季節のあいさつです。暑さとともに、海や山での事故のニュースが飛びこんで来ます。熱中症にも海や山での事故にも気を付けて、今年の夏も乗りこえよう。オーっ。

## ホームレスの生活保護申請可能

先日、あざみの会（クルジット・サラ金被害の会）の役員さんと一緒に、家賃を滞納して立ちのきを求められている家族の生活保護申請に同行しました。その前日、あざみの会や「なんでも相談村」（県地評など労働組合や民主団体が構成）の役員と市・生活支援課（旧・生活保護課）が話し合いを行い、ホームレスも生活保護が申請できることが許されたとか。

## フリーの人々



「入院している場合をのぞき、住んでいる家がなければ保護申請はできない」という従来の常識を大きく踏みこえたもので、ほんまかいなと思いつつ同

## 山手・陸前高田市 震災被災者 救援隊報告その4

7月16日（土）ボランティア最終日も朝から陸前高田市の支援センターへ。宿泊場所から撤収ということ、持って行ったもので現地で使えるようなものは置いてこようと荷物の仕分けをしました。

この日、和歌山からの一行のうち、高齢協の汝田さんに青空市の駐車場の誘導係をお願いして、たいへん

行したのです。家がなくて「申請できる」のは、ほんまでした。申請後はできるだけ早く調査・決定へ2週間（かかる）その間の宿泊費用なども出るようです

## 救援隊報告その4

暑い中でアスファルトのまわりかえしもありとても暑い仕事だったと思えます。残りの8人は、前日の矢作地区の訪問の続きで、山中に入って行きました。きれいな小川に沿って、ポツンポツンと建っている家への訪問でした。前日と同じく直接は被災していませんが、家族やしんせきの人や家が流されたという方が被災して実家に帰って来たという方もいました。要望も特に出されず、「遠くからご苦労さん」とサイダーやお茶、キュウリの漬け物なども何軒かのお電でいただきました。

### 南アフリカ原産学習会

9月10日（土）午前10時～  
和歌山海協事務所  
講師・松下義和氏（元関電社長）  
和歌山海協主催

9月18日（日）午後1時30分～  
地場産センター  
講師・目黒二郎氏（代替工社代表）  
南アフリカ海協主催



JR竹駒駅のホームから市内を見る  
右から2番目ののが菅野会長

# 公益通報(内部告発)の公表

市の人事課から10年度公益通報制度(内部告発)による通報内容等の公表についてという文書が届きました。

通報の内容は、1. 市役所の禁煙化を求め、(1)職員勤務時間中の喫煙のための離席は、公務員の職務専念義務に違反するのではな

い。 (2) 市庁舎入口にある反皿周辺で職員が喫煙する

を信じている学生が多いのに驚いて、人をだます手品を上演するようになったこと。専門は放射線防護学で最近NHKの朝の番組にも

通報に対する調査・措置として、職員に対し喫煙マ

ンケットを実施。喫煙率は19.8%で、勤務時間中の喫煙時間は、平均21.4分。

「健康増進法」で官公庁施設では、受動喫煙の防止策に努めることが定められ、将来的には、全面禁煙を目指すことが求められている

## こんにちは日本共産党です



安斎育郎教授と言えは手品のうまい科学者として有名です。手品やオカルトの本も出しています

が、立命館大学で教えている時に、オカルト現象

は、同氏が「原子力村」に

を信じている学生が多いのに驚いて、人をだます手品を上演するようになったこと。専門は放射線防護学で最近NHKの朝の番組にも

は入らず、科学者の良心を守った勲章です。いま、「赤旗白曜版」に「放射能汚染」の連載

## 潮流

長崎市の東山手にある「オランダ坂」。11.8.9 長く延びる石畳の急坂です。幕末の開国

に立つべき首相のの。いったい、その目はどこを向

で多くの欧米人がこのあたりに住むようになりまし。長崎の人たちは当時、この坂をよく通る彼らを「オランダさん」と呼んだそうです▼66年前のきょう、各所に異国情緒たつよう長崎の街は、一瞬のうちに廃虚となりました。7万4千人の命が一度に奪われ、その倍以上の人命が苦悶とうめきのなかで失われてきました▼菅首相は6日の広島・平和記念式典で「究極的な核廃絶」を主張、日本共産党の志位委員長は「核兵器廃絶の課題を永久に棚上げするもので、歴史的逆行だ」と批判しました▼唯一の被爆国として、「核」の悲惨さ、恐ろしさを訴え、一刻も早く核兵器をなくしようと先頭

に防空壕の跡が残っています。しかし校舎には、いまだに防空壕の跡が残っています。1世紀以上の歴史をもつ同校にも、消すことのできない原爆の悲しみが刻まれているのです▼その野球部は9年ぶりに甲子園大会に出場。11日に登場する予定です。先に1回戦を突破した広島・如水館の主将は、いま野球ができることへの感謝を示し、こう話しました。「原爆で被爆された人のことも忘れてはいけ

赤旗 日刊紙 (9月1日) (5,400円)